

平成26年 2月

藤原美智子 学位論文審査要旨

主 査 鈴 木 康 江
副主査 花 木 啓 一
同 吉 岡 伸 一

主論文

青年期における親密な関係の若者間の暴力被害に関連する要因について

(著者：藤原美智子、吉岡伸一)

平成26年 米子医学雑誌 掲載予定

参考論文

1. デートDVの実態調査：背景因子と健康への影響について

(著者：上杉有加、大島麻美、背戸美希、田根なつみ、藤井公美、鈴木康江、
山根（藤原）美智子、藤田小矢香、池田智子、遠藤有里、南前恵子、笠城典子、
前田隆子)

平成25年 日本医学看護学教育学会誌 22巻 2頁～6頁

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、大学生・専門学校生を対象に、デートDV被害の実態や暴力被害に関連する要因および被害経験が精神健康面に与える影響を検討したものである。その結果、暴力被害を一項目でも受けた経験がある学生は恋人のいる学生の半数であった。暴力被害状況とデートDVの知識、コミュニケーション・スキルとの間の関連は低かったが、暴力被害状況と精神健康度との間に関連性があることが示唆された。暴力被害の種類別では、身体的・精神的・性的な暴力より、社会的・経済的な暴力の被害が精神健康度への影響が強く、また、暴力に対する認識や暴力を容認する意識が暴力被害に関連していた。本論文の内容は、デートDV被害の実態や関連要因および被害が精神健康面に与える影響を明らかにし、被害の防止や被害者への対応に重要な示唆を与えるものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。